

2026 年 10 月 8 日

令和 8 年度『語る・かたる・人権トーク』～自分の人生、自分が主役～

林 但

今月は神奈川県下、7 ブロックで行われている表記は第 3 回目が鎌倉を含む横須賀三浦ブロックで、8 日横須賀文化会館大ホールを使って行われました。会場には 500 名くらいの方が集まりました。主催は国連 NGO 横浜国際人権センターで、共催は横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町、及び各教育委員会です。

講師は、露の新治氏(落語家) 大阪府生野区出身で、**関西弁で自身の経験から差別問題への意識も強く持ち続け、ポンポン笑いを誘う話しや拍手カードを出してくる。あっという間の 90 分**であった。時に扇子を強くたたく(寝ないで)、前から 2 列目のあなたと時に質問も振ってこられる。今まで、私は何度も人権研修を受けている、また、元の勤務先も人権研修を東京都から請け負っていたが、新鮮な気持ちで受講できた。

<感じたこと・気づいたこと他>

- ・人権は命を大切にする
- ・笑うと寿命が延びる、「ハッハハ ハッハハ」
- ・**被差別、自分差別(コンプレックス)、加差別**(講師の造語であるが、世の中で一般的に使われるようになってきた)加差別はなくす、やめるべきである。
- ・人間として「心(しん)」をはっきりさせる。
- ・**自忬＝自信 私の人生は私のもの ⇒自己変革が必要**
願ばる(がんばる)＝願い

* 40 年近く講師は担当されており、引き出しも多く話に引き込まれてしまった。



横須賀市ホームページより

調べてみたい文言

・光村図書 小 6 年:笑う

* 撮影はご遠慮くださいのアナウンスがあり撮れず